

5号機 第1抽気逆止め弁(A)の部品交換について

平成 19 年 2 月 14 日

発生号機	5号機(調整運転中) :改良型沸騰水型、定格電気出力138万キロワット
発生年月日	平成19年2月14日(ガスケット交換を決定した日)
発生時の状況	<p>浜岡原子力発電所5号機(定格電気出力138万kW)は、定格熱出力一定運転中(調整運転中)のところ、2月12日午後4時35分頃、タービン建屋2階(放射線管理区域内)の湿分分離加熱器^{※1}(A)付近の床面にごく僅かな水たまりがあることをパトロール中の当社社員が発見しました。</p> <p>現場を確認したところ、当該床面の上部に設置されている第1抽気逆止め弁^{※2}(A)のボンネットフランジ部から水が滴下(1滴/秒)していることがわかったため、当該フランジ部のボルトの増し締めを行い、水の滴下は止まりました。</p> <p>本日、当該フランジ部に取り付けられているガスケット^{※3}の仕様が間違っていることがわかったため、部品等の準備が整った後に当該フランジ部のガスケットの交換を行うこととしました。</p> <p>本事象によるプラントの運転への影響はなく、安定運転を継続しております。</p>
放射能の影響	本事象による外部への放射能の影響はありません。
今後の予定	部品の準備が整った後に、当該フランジ部のガスケットの交換を行います。ガスケットの交換は、原子炉を停止して行う必要があるため、原子炉停止の日時については、準備が整った段階でお知らせいたします。
お知らせ基準	「表2-2」に該当します。

※1:湿分分離加熱器とは、高圧タービンからの排気に含まれる湿分を除去するとともに、プラント熱効率を高めるため低圧タービンへの蒸気を加熱するための機器。5号機には2台設置されている。

※2:抽気逆止め弁とは、タービントリップ時に抽気(蒸気)が逆流することを防止するために設置されている弁。抽気はプラントの熱効率向上のために高圧タービンおよび低圧タービンから給水加熱器に供給される蒸気。

※3:ガスケットとは、フランジ部の継ぎ目に水密性を持たせるために取り付ける部品。

以上

浜岡5号機 系統概要図

